

I. 調査目的と調査概要

1. 調査目的

西東京市コミュニティバス(以下、「はなバス」とする。)の運行については、平成 28 年4月にルートの見直しを実施した。

本調査では、各バス停における乗降状況や郵送によるアンケート調査の実施により、ルート見直し後の利用実態及び市民意識を把握することを目的とし、実施した。

2. 調査概要

(1) 調査項目、調査対象者、調査目的、調査方法（調査項目については表 1 を参照）

調査項目	調査対象者	調査目的	調査方法
バス停間乗降 (OD) 調査	はなバスの 利用者	・はなバスの利用実態の把握 ・平成 26 年 6 月に実施した乗降 調査結果と比較し、新規路線導 入等の効果について検証	各ルートのバスに調査員を乗車さ せ、乗車バス停及び降車バス停ご との利用者を調査
利用者 アンケート調査	はなバスの 利用者 (16 歳以上)	・はなバスの利用者意識の把握 ・ルート見直しの影響について、 利用者意識の変化を把握	バス停間乗降(OD)調査の実施と 同時に、調査票と返信用封筒を配 布し、後日回収
市民 アンケート調査	無作為抽出 による市内 3,000 世帯	利用者・非利用者における運行評 価、運行補助に関する意識等を調 査	調査票を郵送配布し、郵送回収。 なお、はなバス車内や市役所に回 収ボックスを設置し回収。

(2) 調査実施日（各調査の調査票については、【参考資料】調査票 1・2・3 を参照）

バス停間乗降 (OD) 調査 利用者アンケート調査	平日 : 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 晴れ (17 時台に降雨) 休日 : 平成 30 年 6 月 17 日 (日) 晴れ ※アンケート調査票の配布は、バス停間乗降調査と同じ日に実施
市民アンケート調査	発送日 : 平成 30 年 6 月 15 日 (金) 締め切り日 : 平成 30 年 6 月 30 日 (土)

表 1 調査項目の設定（平成 26 年度調査との比較）

調査項目	OD調査		利用者アンケート		市民アンケート		調査目的等	
	調査員が利用者の乗降場所や目視による個人属性などを調査		調査員が調査票を配布し、その場もしくは後日、郵送にて回収		住民基本台帳から抽出した3,000人の市民に郵送にて調査票を配布			
	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度		
①個人属性	性別	○	○	○	○	○	・平成30年度では60歳代以上の年代区分を詳細に設定 ・最寄バス停までの所要時間の把握	
	年代	おとな・学生・子ども ○	おとな・学生・子ども・未就学児 ○	○	○	○		○
	職業	—	—	○	○	○		○
	居住地 (日常的な利用者・来訪者)	—	—	○	○	○		○
	最寄り駅	—	—	○	○	○		○
	普段の利用駅	—	—	○	○	○		○
	最寄りバス停	—	—	○	○	○		○
	利用者数 (未就学児除く 未就学児児童数含む)	未就学児除く ○	○	—	○	—		—
②利用実態の把握	支払方法	ICカード 現金、回数券 ○	ICカード 現金、回数券 ○	—	—	—	—	・はなバスの利用実態と、目的地が合っているかを把握
	利用頻度(平休)	—	—	○	○	○	○	
	乗車・降車時刻(平休) (所要時間分析)	○	○	○	○	○	○	
	バス停間OD(平休) (乗車バス停・降車バス停)	○	○	○	○	○	○	
	利用目的(平休)	—	—	○	○	○	○	
	行き先・目的地	—	—	—	○	—	○	
	はなバス利用前後の移動手段	—	—	○	○	○	○	
	代替手段	—	—	○	○	—	○	
	乗車頻度(回/日)	—	—	—	○	—	○	
	乗り切れなかった人数 (便別)	○	○	—	—	—	—	
③はなバスの認知度			—	—	○	○		
④はなバスの満足度			—	○	—	○		
⑤はなバス非利用者	非利用の理由					○	○	・はなバス非利用者の特性
	普段の利用手段					○	○	
	はなバス利用の条件					○	○	
⑥運行補助	運行補助認知度			○	○	○	○	・運行補助に関する評価、あり方 ・路線バスとの運賃格差
	運行補助の評価			○	○	○	○	
	補助・利用者負担のあり方			—	—	○	○	
	路線バスとの運賃格差の評価			○	○	○	○	
⑦見直しによる変化	所要時間調査			調査員により実施	—	—	—	・平成26年度は運賃に関する調査 ・平成30年度はルートに関する調査
	前後の利用変化			—	○	—	○	
	利用回数増減理由			—	○	—	○	
	利便性の評価			—	○	—	○	
⑧はなバスの運行評価	非利用代替手段			—	○	—	○	・ルート、運行時刻、所要時間、待ち時間に関する評価 ・外出機会のきっかけや将来利用する可能性 ・小学生車内放送に対する評価 ・情報発信の評価
	運行経路			○	○	○	○	
	バス停位置			○	○	○	○	
	運行本数			○	○	○	○	
	始発・終発時刻			○	○	○	○	
	定時性			○	○	○	○	
	遅延時の時刻			○	○	○	○	
	許容可能な乗車(所要)時間			—	○	—	○	
	バス停での許容可能な待ち時間			—	○	—	○	
	外出機会			—	○	—	○	
	将来の利用意向(頻度)			—	○	—	○	
小学生車内放送の評価			○	○	○	○		
情報発信の方法・評価			—	○	—	○		
⑨希望・要望	希望経由地				○	○	○	
	希望経路の利用目的				○	○	○	
	希望経路の利用時間帯				○	○	○	
	希望経路の利用頻度				○	○	○	